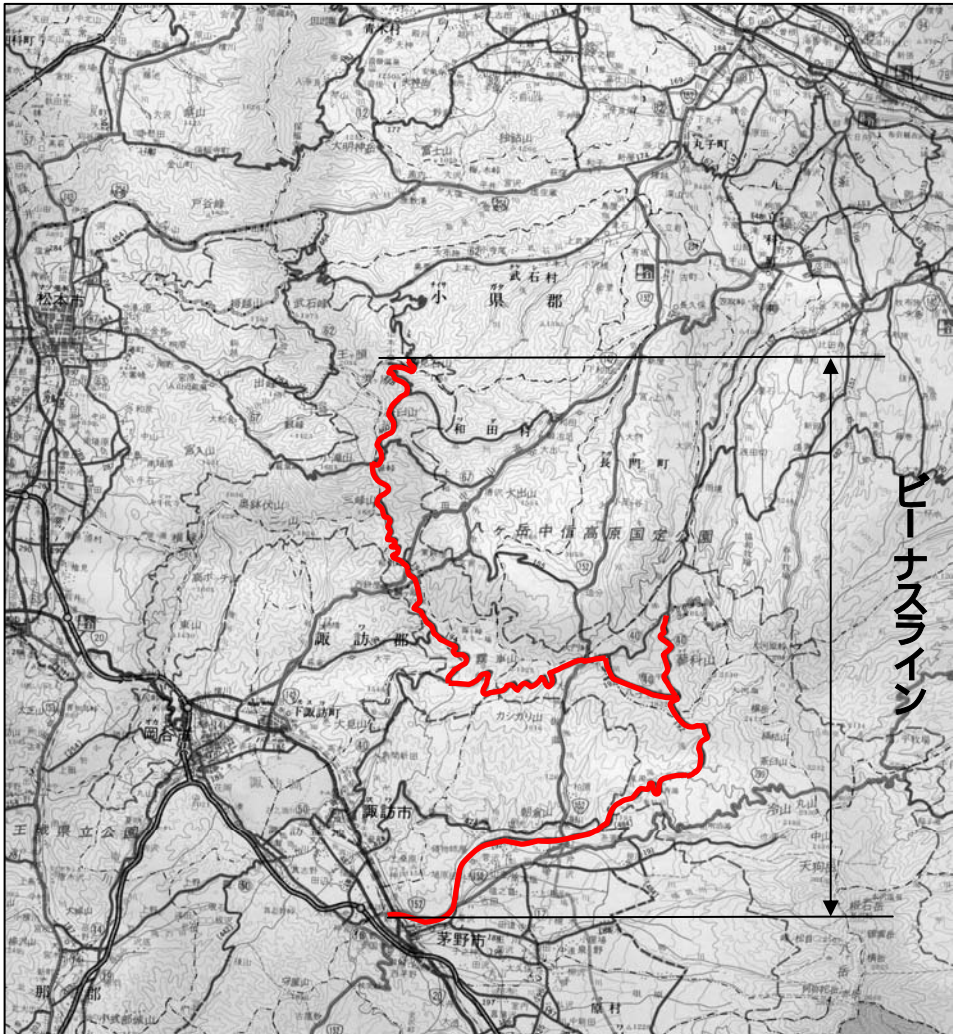


観光社会資本の事例

テーマ	雄大なパノラマを満喫できるビーナスライン
【施設の状況写真】	
	
ビーナスラインの雄大なパノラマ	ビーナスラインと花畑
【施設の利用写真】	
	
ビーナスライン沿線の霧ヶ峰高原に咲き誇るニッコウキスゲ	
【観光資源としての利用状況】	
<p>茅野市街(標高 800m)から蓼科高原を白樺湖へ向かい、さらに八島ヶ原高層湿原とニッコウキスゲの霧ヶ峰高原(標高 1,500m)を経て、アルプスの展望台・美ヶ原高原(標高 2,000m)へと続くビーナスラインは、素晴らしい眺望の信州を代表する観光道路です。</p>	
<p>なかでも、旧霧ヶ峰有料道路(35.2km)は、標高1,500m~2,000mの亜高山帯を走り、富士山や南北アルプスの雄大な景観と、色とりどりの花々に囲まれた日本有数の山岳道路として、多くの方に利用していただいています。</p>	

テーマ	雄大なパノラマを満喫できるビーナスライン
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 『ビーナスライン』 総延長76.0km</p> <p>旧蓼科有料道路(40.8km)及び旧霧ヶ峰有料道路(35.2km)の両線を併せて呼ぶ愛称</p> <p>所在地 茅野市ちのあけぼの隧道～美ヶ原高原</p> <p>事業名 有料道路事業</p> <p>事業主体 長野県企業局</p> <p>事業期間 昭和36年(1961年)～昭和56年(1981年)</p> <p>昭和56年(1981年)の全線開通から20年余、平成14年(2002年)2月には全線無料化</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>ビーナスラインは、蓼科高原、白樺湖、車山高原、霧ヶ峰高原、八島湿原、美ヶ原高原など、信州を代表する高原・湖沼が連なり、点在していた観光資源をネットワーク化し、これによって県内有数の広域観光地を出現させ、初夏から晩秋にかけて季節の変化が楽しめる一大観光ゾーンを形成し、山岳観光の拠点として大きな役割を果たしているとともに、各々の観光資源へのアクセス道路としての機能も有している。</p>	
【位置図】	
<p>【関連ホームページ】長野県公式ホームページ</p> <p>http://www.pref.nagano.jp/seikan/kankyuu/venus/jikkou.htm</p>	